

おれんじの屋根

施設長より

「スマホパパと危険予知能力」

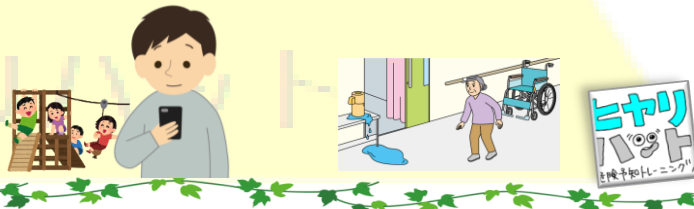
愛犬の散歩によく行く近くの公園に、先日、4歳と2歳くらいの男の子とそのパパが来ていました。公園には、滑り台やジャングルジム、登はんなどの付いた大きな複合遊具がありますが、パパは、離れたベンチに子どもたちに背を向けて座ったまま、下を向いてずっとスマホに熱中。小さい兄弟の場合、兄弟間で運動能力や安全の理解度に差があり、下の子は上の子について行くとかかなり無理をすることもあります。実際に、私が見ているときに、下の子がジャングルジムから落ちました。幸いケガはなかったようですが、くだんの「スマホパパ」は気づきもしませんでした。接する場面や時間が少ない父親の子どもに対する安全意识や危険予知能力は、普段から子どもに接する母親に比べて非常に低いと言われています。まさに、公園で見かけた「スマホパパ」はその典型でした。小さな子どもが事故を起こすことを想像すらしていないのでしょう。

育成会では、各事業所での事故防止や安全管理のため、毎年開催する事業所の職員全体研修会で、「KYT」（「危険予知訓練」のこと。「空気が読めない人」の略ではありません。）を行ったことがあります。グループごとに、イラストを見て、絵の中に潜む事故につながる要因を出し合うことで、職員の危険予知能力を高め、事故防止や安全意識の向上につなげることがねらいでした。例えば、床に水がこぼれているのを見て、誰かが足を滑らせて転倒するかも知れないと思って直ちに床を拭く！、これが危険予知能力に基づいた危険回避の行動です。こういった危険予知能力は、学習や訓練、経験（特に事故につながったという失敗経験）を通して、より身につくものでしょう。

他にも、事故防止や安全管理でよく言われるのが、「だろろう運転」と「かも知れない運転」で、自動車学校でも習います。事故防止、安全対策のためには、たぶん大丈夫「だろろう」と楽天的に考えるのではなく、事故が起きる「かも知れない」という認識が不可欠と言われます。例えば、狭い道を車で通行する際、「かも知れない」運転だったら、脇道から子どもが飛び出す「かも知れない」と思い、いつでも止まれる速度で行くなどです。

もう一つ重要なのが、「ハインリヒの法則」。これは、別名「1:29:300の法則」とも呼ばれ、1つの重大事故の裏には、29の軽微な事故と300の怪我に至らない事故があるというものです。その1つの重大事故を起こさないために、29の軽微な事故はもちろん、300の事故についても、ヒヤリとしたりハッとしたことを、職員間で出し合い共有する「ヒヤリハット」の取り組みも重要です。

しょうぶの里でも、他の育成会事業所でも、利用者さんや子どもの安全や生命が最も大事なのは言うまでもありません。研修から少し年数が経ち、新しい人も多くなったので、今年辺り、前述の「スマホパパ」の事例も参考にしながら、再度、事故防止や安全管理、「KYT」の研修を考えたいと思っていますところ です。



ヒヤリハット
と検知ドレニクワ

書き遊ぶ「徹子の部屋」

ゆうゆう会会長の瀬上です。

コロナ変異株が広がっているそうです。用心しましょう。

午後一時からテレビで「徹子の部屋」がっています。70歳以上のゲストの場合、話の内容が大きく3つに分かれます。

まず一つ目は病気の話。元々高齢になったら病気の一つや二つあるのは当たり前ですし、親の病気の話も多いです。

二つ目は子や孫の話。写真やエピソードを生き生きと話されます。

三つめはペットの話。ゲストが一人暮らしとか夫婦二人だけの時、目に入れても痛くないとばかりに話されます。

また、徹子さんが会話でよく口にする言葉が「凄い」「本当に?」「あーた」です。見ていると何度も「凄い」を連発されます。種切れになるのか、同じ人が何度も出演され昔の映像も出てきます。しかし、一人、二人と最近はお亡くなりになられています。

一番凄いのは徹子さん、貴女です！



徹子の部屋

白くまコンテスト

しょうぶの里の夏の風物詩「白くまコンテスト」を今年は8月4日に行いました。利用者さんの独自のセンスで生まれる「白くま」たちですが、今年も色彩カラフルな「白くま」たちがたくさん生まれました!!



しょうぶの里の新しい仲間のご紹介

令和5年7月1日、しょうぶの里に新しい仲間を迎えました。お名前は福島節子さん、昭和40年生まれの57歳です。いつもニコニコ笑顔で、とても人懐っこい女性です。



給食室より

9月

イベントメニュー

- 9月 5日(火) リクエストメニュー
- 9月 8日(金) 誕生会
- 9月13日(水) 手作りおやつ
- 9月20日(水) リクエストメニュー
- 9月29日(金) お月見会



「夏バテ防止におススメの食べ物」

暑い日が続いています。皆さん夏バテになっていませんか?ぜひ下記の食材を摂取してこの暑い夏を乗り切りましょう!

①みそ汁

汁で失われたミネラルを補給。豆腐や生姜を入れると◎



②オクラ

腸内環境を整える作用あり。納豆や山芋と一緒に食べると◎



③豚肉

ビタミンBで疲労回復を!脂が気になる時はゆでるとOK!



管理栄養士 厚地

医務室より

「夏の病気について」

いよいよ夏本番となり暑い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか?しっかりと水分補給と体調管理に努めて、この暑い夏を元気に乗り越えましょう!

今回は夏に多い病気についてお話します。

《夏に多い病気》

感染症としてプール熱・ヘルパンギーナ・手足口病・リンゴ病等々。

また熱中症・脱水症状から他の病気へつながるリスクもあります。尿路感染症・結石・脳梗塞など要注意です。

しょうぶの里でも水分補給に努めつつ、食欲低下が夏バテにつながってしまうため、利用者さんの体調の変化を見逃さず、病気の早期発見に努めています。

最近、新型コロナウイルス感染症の罹患者が増加中です。引き続き感染症対策も徹底していきます。



看護師 武田

《9月の行事予定》

- ☆ 6日(水) 訪問診療(高野病院)
- ☆ 7日(木) 訪問歯科(きずな歯科)
- ☆ 8日(金) 誕生会
- ☆ 11日(月) 職員研修会
- ☆ 12日(火) お話し会
- ☆ 14日(木) 訪問歯科
- ☆ 18日(月) 敬老の日
- ☆ 21日(木) 訪問歯科
- ☆ 23日(土) 秋分の日
- ☆ 25日(月) 職員会議 給食委員会
- ☆ 26日(火) 夜間避難訓練
- ☆ 28日(木) 訪問歯科
- ☆ 29日(金) お月見会

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

年々、気温の上昇が止まりません...怖いことです。先日は福島県の梁川で40度超えを記録したというニュースがありました。右下のヒゴタイの花を見て20数年前の夏の思い出が蘇りました。当時5歳と9歳の息子たちと家族4人で産山村にある「ヒゴタイ公園キャンプ村」に行きました。ロッジに泊ったのですが8月なのに扇風機もエアコンもなく暑くて眠れないのではと心配していましたが、いやいや、夜寝る時は毛布を頭からかぶっていました。さすが阿蘇だなどと驚きました。しかしこの温暖化の影響であの当時より気温も上昇しているんでしょうね...(-_-)

～～第76号～～

令和5年8月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

